

～社会課題に向き合う持続可能な物流へ～
現場の力と協働で推進する、味の素グループの物流改革

F-LINE社は、「競争は商品で、物流は共同で」という設立理念のもと、味の素グループを含む食品メーカー5社が共同で設立した物流会社です。企業の壁を超えた共同配送を通じ、効率的で持続可能な物流の実現に取り組んでいます。

物流業界は「物流の2024年問題[※]」をはじめとする構造的な課題に直面しています。こうした中、現場では生産性向上と働きやすさの両立を目指し、業務改善やDX・自動化を推進するとともに、共同物流の取り組みを進めています。さらに鉄道や船舶を活用したモーダルシフトを積極的に推進することで、輸送効率の向上と環境負荷低減を両立しています。

これらの取り組みを支えるのが、物流現場で働く多様な人財です。倉庫、輸送、事務などそれぞれの役割から日々の業務改善や工夫を重ね、チームワークを発揮しながら誇りをもって業務に取り組んでいます。現場では、若手従業員にも積極的に仕事を任せることで、一人ひとりが主体的に考えて工夫や提案を行い、業務改善につなげる風土が根付いています。

人の力と協働を基盤に、持続可能な物流の構築に取り組む現場の姿を、ぜひご覧ください。

【↓画像をクリックするとリンク先動画に移ります】



※トラックドライバーの時間外労働に対する上限規制の導入により輸送の制約が生じ、物流の持続性や安定供給への影響が懸念される社会課題

参考

F-LINE株式会社 HP: <https://www.f-line.tokyo.jp/>

当社HP ストーリー「モーダルシフトってなに?」: <https://story.ajinomoto.co.jp/report/096.html>

本件に関するお問い合わせ先: investor_relations@asv.ajinomoto.com